

2002 年秋季年会

# 年会プログラム

於 宮崎シーガイア

2002 年 10 月 7 日 (月) ~ 10 月 9 日 (水)

日本天文学会

<年会プログラムは、取り外せます。>

# 日本天文学会 2002 年秋季年会プログラム

場 所 宮崎シーガイア (案内図参照)  
〒 880-8545 宮崎市山崎町浜山  
電話 090-4387-6893 <使用期間 2002 年 10 月 6 日 (日) ~ 10 月 9 日 (水)>

## 日 程

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
10月6日 (日)		公開講演会						記者会見					
10月7日 (月)	A	T. 銀河団		(理事会) 昼休み	ポスター	T. 銀河団/R. 銀河		特別セッション I	特別セッション II				
	B	V. 地上観				V. 地上観							
	C	Q. 星間				Q. 星間							
	D	S. 銀河核				S. 銀河核							
	E	K. 天力/L. 太陽系				L. 太陽系/U. 宇宙論							
	F	B. 宇宙流体				B. 宇宙流体							
	G	N. 恒星				N. 恒星							
10月8日 (火)	A	R. 銀河		(評議員会) 昼休み	ポスター	R. 銀河		総会 総会出席者確認 受付終了	懇親会				
	B	V. 地上観				V. 地上観/Y. 教育							
	C	Q. 星間/M. 太陽				M. 太陽							
	D	P. 星・惑星				P. 星・惑星							
	E	U. 宇宙論/W. 飛翔観				W. 飛翔観							
	F	C. 公開講座				D. 高赤方							
	G	N. 恒星				N. 恒星							
10月9日 (水)	A	R. 銀河		昼休み	ポスター	R. 銀河							
	B												
	C	M. 太陽				M. 太陽							
	D	P. 星・惑星				P. 星・惑星							
	E	W. 飛翔観				W. 飛翔観							
	F	D. 高赤方				D. 高赤方							
	G	A. 突発天体				A. 突発天体							

A 会場 : ファウンテンルーム (2F)  
B 会場 : オーチャードルーム (2F)  
C 会場 : 瑞洋 (3F)  
D 会場 : 海峰 (3F)  
E 会場 : 天玉 (4F)  
F 会場 : 天蘭 (4F)  
G 会場 : アイボリールーム (4F)

受 付 : ロビー (2F)  
ポスター会場 : 樹葉 (4F)  
昼食会場 : 天瑞 (4F)  
総会会場 : A会場  
会議室 : ジブラルタル (2F)  
懇親会場 : シェラトンフェニックスゴルフリゾート

## ◎講演数・参加費用

講演数：合計 591

(口頭講演 (a) : 331、ポスター講演 (b) : 193、ポスター講演 (c) : 67)

基本登録料：会員 3,000 円、非会員 5,000 円 (1 講演分の講演登録料を含む)

追加講演登録料：3,000 円 (追加 1 講演につき)

年会予稿集：2,000 円 (購入希望者のみ)

※基本登録料・追加講演登録料は、会期中に受付にて忘れずにご納付下さい。

## ◎講演に関する注意

1. 口頭発表は 7 会場で併行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

2. ポスター発表 (添字 b)、(添字 c) は、3 日間掲示できます。ポスターは縦 180 × 横 90 cm まで掲示できます。ポスター会場の指定された場所に、10 月 7 日の 9:30 から 10 月 9 日の 13:00 まで掲示できます。終了後は速やかに撤去してください。
3. 講演には OHP をご使用下さい。(ビデオ、液晶プロジェクターの使用については、事前に申し込みが必要です。)

## ◎会期中の行事

1. 公開講演会：6 日 (日) 13:00 ~ 16:00

宮崎市民プラザ オルブライトホール

2. 記者会見：6 日 (日) 15:00 ~

ワールドコンベンションセンター サミット  
学会講演の中から、3 ~ 4 のトピックスを選び、記者会見を行います。

3. 理事会：7 日 (月) 12:00 ~ 13:00 会議室

4. 特別セッション I：7 日 (月) 16:00 ~ 18:00 A 会場

5. 特別セッション II：7 日 (月) 18:00 ~ 19:00 A 会場

6. 評議員会：8 日 (火) 12:00 ~ 13:00 会議室

7. 総会：8 日 (火) 16:00 ~ 17:30 A 会場

(16:00 ~ 16:30 総会出席者確認、16:30 総会開始)

主な議題 =  新役員 (理事、監事) の承認  
 選挙管理委員の承認  
 2003 年度事業計画 (案)  
 2003 年度収支予算 (案)

8. 懇親会：8 日 (火) 18:00 ~

シェラトンフェニックスゴルフリゾート

## ◎特別セッションⅠ「法人化と天文学研究の将来について」

主催： 日本学術会議天文学研究連絡委員会、日本天文学会

2004年を目途に国立大学および大学共同利用機関の法人化が進められようとしています。法人化が実施されると研究・教育・運営の体制がこれまでと大きく異なることが予想され、各大学・研究所・共同利用機関においてさまざまな組織改革の議論がなされていることと思います。本セッションにおいては、法人化への移行の実体を交流しながら、天文学研究をいかに持続的に発展させていくかについて討論を行いたいと考えています。多くの方々の参加と活発な討論を期待しています。

日 時： 2002年10月7日(月) 16:00～18:00  
場 所： A会場(ワールドコンベンションセンターサミット2F)  
内 容

(第1部) 各機関からの報告(敬称略)

国立天文台から	海部宣男
宇宙科学研究所から	松本敏雄
大学から	岡村定矩、もう1人予定
宇宙線研究所から	黒田和明

(第2部) パネル・ディスカッション

司 会：池内 了  
パネラー：上記報告者

世 話 人： 池内 了、福島登志夫、柴田一成

## ◎特別セッションⅡ「始まるアルマ建設と日本の参加計画」

主催： 日本学術会議天文学研究連絡委員会  
日本学術会議天文学国際共同観測専門委員会  
日本学術会議電波科学研究連絡委員会J分科会  
日本天文学会  
国立天文台電波専門委員会 ALMA 計画推進小委員会

北アメリカ、ヨーロッパ、そして日本が協力して南米チリのアンデス高地に建設しようとしている、巨大ミリ波サブミリ波望遠鏡アルマ(ALMA = Atacama Large Millimeter/submillimeter Array)。アメリカ合衆国の建設予算承認、ヨーロッパ南天天文台ESOの建設開始承認にともない、アルマの建設はいよいよ今年中にも開始される状況となりました。その中で、今年度から2年計画の研究開発予算が終了する2004年度に建設予算獲得をめざす日本は、北米・欧州にやや遅れての参加となることに伴い、参加計画の組み直しを進めています。本セッションでは、アルマ計画の最新状況とともに、日本がどのような形でアルマに参加しようとしているかを広く天文学コミュニティの皆さんにお伝えし、ご意見をうかがいたいと思います。多くの方々の参加をお願いいたします。

日 時： 2002年10月7日(月) 18:00～19:00  
場 所： A会場(ワールドコンベンションセンターサミット2F)  
世 話 人： 長谷川哲夫、池内 了、福井康雄

◎日本天文学会公開講演会

共催：宮崎科学技術館

後援：宮崎県教育委員会、宮崎市教育委員会、  
宮崎日日新聞社、読売新聞西部本社、  
宮崎県天文協会

テーマ：「すばる」望遠鏡がとらえた宇宙の姿と天文研究

日時：2002年10月6日（日）13：00～16：00（12：30会場）

場所：宮崎市民プラザ・オルブライトホール（宮崎市橋西）

対象：中学生以上・一向け

講演 I：星のかけらから探る太陽系の始まり  
－しし座流星雨と星の王子さまのふるさと－

講演者：宇宙科学研究所・助手 矢野 創

地球には、今も毎日100トンもの宇宙物質が降り積もっています。その99%以上は1mmに満たないチリが占めており、多くは太陽や惑星が生まれた時代の「化石」、小惑星と彗星のかけらです。その証拠が地表で見つかる隕石や宇宙塵と、夜空に輝く流れ星です。そして顕微鏡を使った隕石の分析データと、望遠鏡を使った始原天体の観測データを橋渡しするのが、実際に始原天体を訪ねる探査機の役目です。分析・観測・探査という異なる研究方法を正しく組み合わせ初めて、私たちは太陽系を始めとする惑星系の進化に関する理論をより確かなものへ育てていけるようになります。この講演ではその実例として、今年11月にも大出現が予報されているしし座流星雨と、同じ頃鹿児島県内之浦から打ち上がる世界初の小惑星サンプルリターン計画「MUSES-C」を取り上げ、最先端の研究が描く太陽系と私たち生命の起源について、やさしく紹介いたします。

講演 II：見えてきた「すばる」の誕生  
－ハワイから探る星・惑星系の生い立ち－

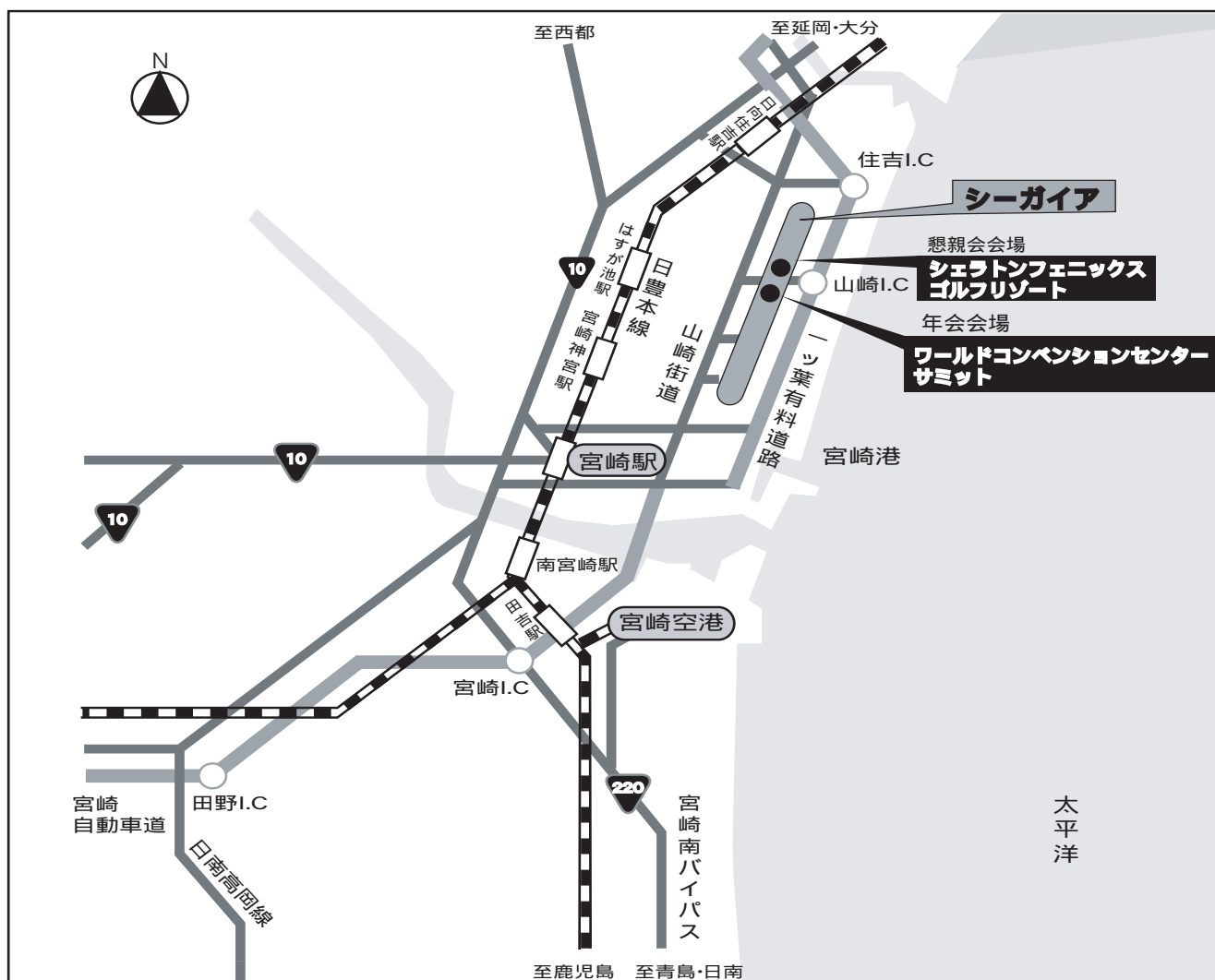
講演者：国立天文台ハワイ観測所・助教授 林 左絵子

大気の影響をできるだけ避けようとして、標高4200mなどという高地に望遠鏡すばるを設置したのは、高感度の赤外線観測を目指してのことであった。濃い星間雲に隠されている星の誕生の現場も見ることが可能になる。地球のような惑星の誕生の経過を探るなら、実は銀河系の中にたくさんあり、また続々と誕生している、太陽に似たような星々の生まれる状況が手がかりをくれるはずだ。これまで各所で行われた観測により、地球に比べてかなり重い惑星の存在は観測的に十分に確立した。

しかし、地球のような惑星は本当にあるのだろうか。また生命の誕生につながるような水は、たしてあるのだろうか。惑星の姿を直接とらえようとするくわだてとともに、分光観測からも地球に似た環境探しが試みられている。「すばる」望遠鏡がこれらの問いに答えようとしている、その挑戦の様子をお伝えしたい。

※入場無料、事前の参加申し込みは不要です。当日ご自由においで下さい。ただし、会場の都合で入場を制限する場合がございますので、早めにご来場下さい。なお、駐車場は混み合うこともございますので、できるだけ公共の交通機関をご利用下さい。

## 秋季年会会場（シーガイア）のご案内

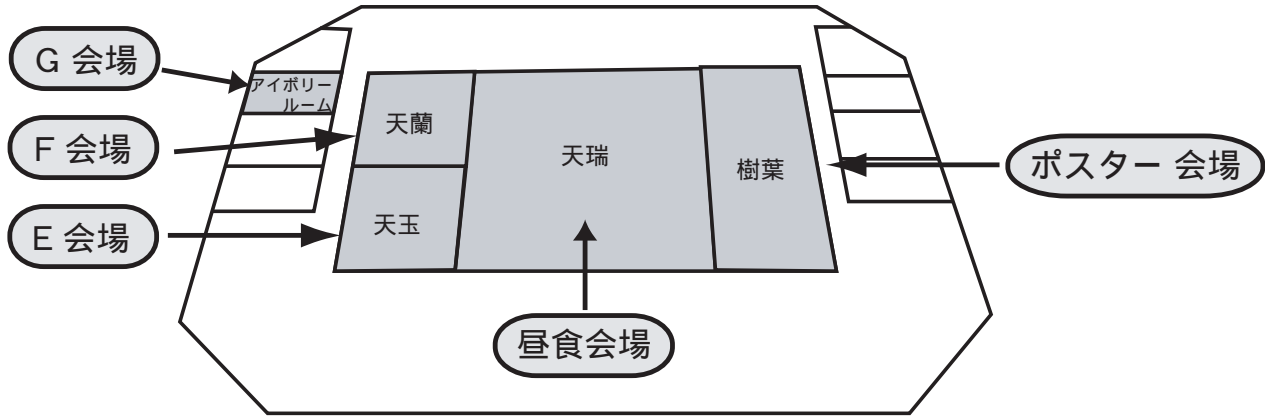


### 交通案内

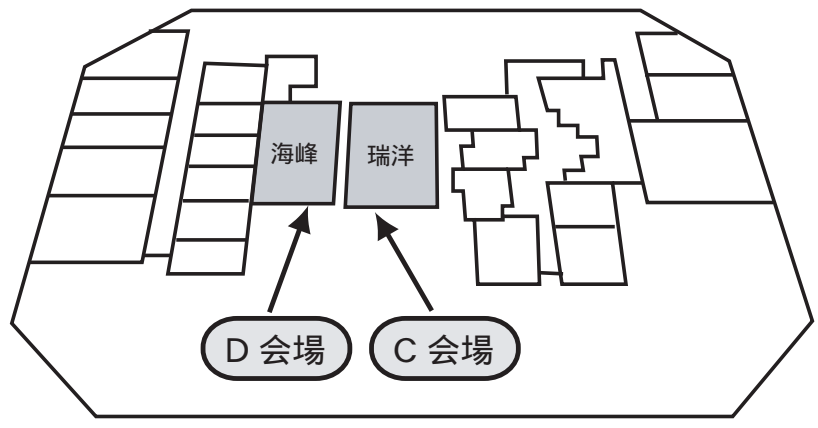
- 宮崎空港から バス40分（800円）、 タクシー30分（3,800円）  
8：30～19：00 30分毎に運行
- 宮崎駅から バス30～40分（340～520円）、 タクシー25分（2,500円）  
7：45～21：15 30分毎に運行

# 年会会場案内図

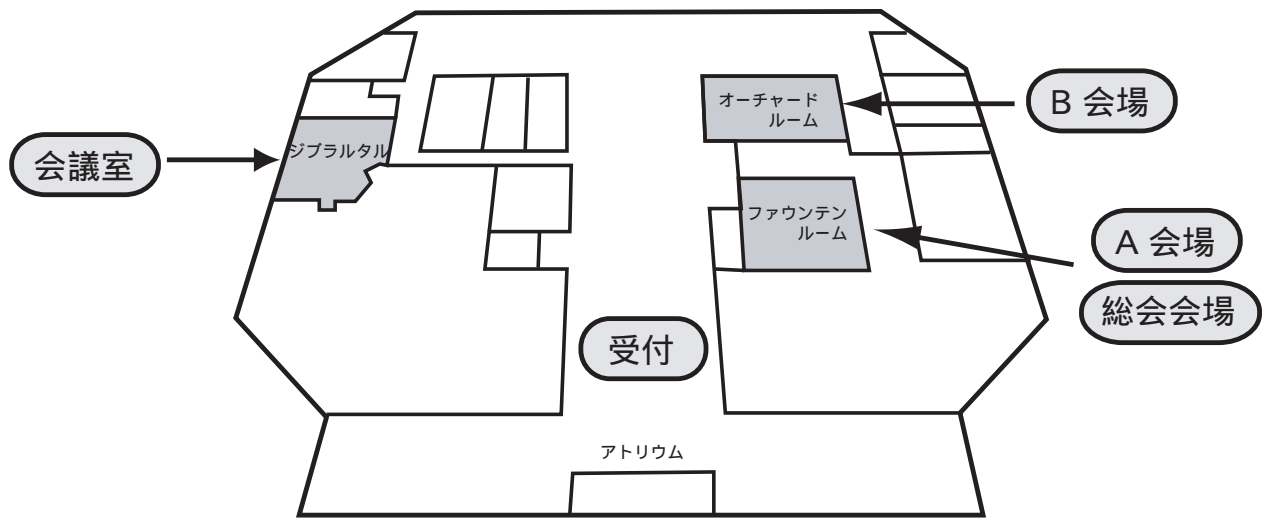
ワールドコンベンションセンター サミット



4F



3F



2F

口頭セッション 10月7日(月)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
10:00	【銀河団】 T01a	【地上観】 V01a	【星間】 Q01a	【銀河核】 S01a	【天力】 K01a	【宇宙流体】 B01a	【恒星】 N01a
10:12	T02a	V03a	Q02a	S02a	K02b - K04b		N02a
10:24	T03a	V04a	Q03a	S03a	K06b		N03a
					【太陽系】 L01b, L02b		
10:36	T04a	V05a	Q04a	S04a	L03a	B02a	N04b - N06b
10:48	T05a	V06a	Q05a	S05a	L04a		N07a
11:00	T06a	V08a	Q07a	S06a	L05a		N08a
11:12	T07a	V09a	Q08a	S07a	L06a	B03a	N09a
11:24	T08a	V10a	Q09a	S08b, S10b, S11b	L07a		N11a
11:36	T09a	V11a	Q10b - Q12b	S12a	L08a	B04a	N12a
11:48	T10a	V12b - V14b	Q13b - Q15b	S13a	L09a		N13a
12:00		V15b	Q16b	S14a S15a	L10b, L11b		
昼休み							
13:00	ポスター						
14:00	【銀河団】 T11a	【地上観】 V17a	【星間】 Q17a	【銀河核】 S16a	【太陽系】 L13a	【宇宙流体】 B05a	【恒星】 N14a
14:12	T12b - T14b	V18a	Q18a	S17a	L14a	B06a	N16a
14:24	T15b, T16b	V19a	Q19a	S18a	L15b - L17b	B07a	N17a
	【銀河】 R01b						
14:36	R02a	V20b - V22b	Q20a	S19a	L18b, L19b	B08a	N18b - N20b
					【宇宙論】		
14:48	R03a	V23a	Q21a	S20a	U01a	B09a	N21a
15:00	R04a	V24a	Q22a	S21b - S23b	U02a	B10a	N22a
15:12	R05a	V25b - V27b	Q23a	S24a	U03a	B11a	N23a
15:24	R06a	V28b - V30b	Q25a	S25a	U04a	B12a	N24a
15:36	R07a	V31b - V33b	Q26a	S26a	U05a	B13a	N25a
15:48	R08a	V35b - V37b	Q27a	S27b, S28b	U06a	B14b - B16b	N26a
16:00						B17b - B19b	
特別セッション I							
18:00	特別セッション II						



口頭セッション 10月8日(火)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
	【銀河】	【地上観】	【星間】	【星・惑星】	【宇宙論】	【公開講座】	【恒星】
09:30	R09a	V38a	Q28a	P01b - P03b	U07a	C01a	N27a
09:42	R10a	V39b - V41b	Q29a	P04b, P06b, P08b	U08a	C02a	N28a
09:54	R11a	V42a	Q30a	P11b - P13b	U09a	C03a	N29b - N31b
10:06	R12a	V43a	Q31b - Q33b	P14b - P16b	U10b - U12b	C04a	N32a
10:18	R13a	V44a	Q34b, Q35b, Q37b	P17b - P19b	U13b, U14b		N33a
			【太陽】		【飛翔観】		
10:30	R14a	V45a	M01a	P20b - P22b	W01a	C05a	N34a
10:42	R15a	V46a	M02a	P25a	W02a	C06a	N35a
10:54	R16a	V47a	M03a	P26a	W03a	C07b - C09b	N36a
11:06	R17a	V48a	M04a	P27a	W04a		N37a
11:18	R18a	V49a	M05a	P28a	W05a	C10a	N38a
11:30	R19a	V50a	M06a	P29a	W06b-W08b	C11b - C13b	N39a
11:42	R20a	V51a	M07b, M09b, M10b	P30a	W09b-W11b	C14b, C15b	N40a
11:54	R21b - R23b	V52a	M11b	P31a	W12a		N41b - N43b
12:00	昼休み						
13:00	ポスター						
	【銀河】	【地上観】	【太陽】	【星・惑星】	【飛翔観】	【高赤方】	【恒星】
14:00	R27a	V53a	M12a	P32a	W13b, W15b, W16b	D01a	N44a
14:12	R28a	V54b, V55b, V57b	M13a	P33a	W17b-W18b		N45a
14:24	R29a	V61a	M14a	P34a	W19a	D08a	N47b, N49b, N50b
14:36	R30a	V62b - V64b	M15a	P35a	W20a		N53a
14:48	R31b - R33b	V65b - V67b	M16a	P36a	W21a		N54a
		【教育】					
15:00	R34b, R38b, R39b	Y01a	M17a	P37a	W22a		N55a
15:12	R41b - R43b	Y02a	M18a	P38a	W23b-W25b		N56a
15:24	R44a	Y03b - Y05b	M20a	P39a	W26b, W28b, W29b		N57a
15:36	R45a	Y06b - Y08b	M21a	P40a	W30a		N58a
15:48	R46a	Y09b	M22a	P41a	W31b-W33b		N59a
16:00	総会 (A会場)						
17:30	(16:00~16:30 総会出席者確認)						
18:00	懇親会 (シェラトンフェニックスゴルフリゾート)						

口頭セッション 10月9日(水)

時刻	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場
09:30	【銀河】 R47a		【太陽】 M23a	【星・惑星】 P42a	【飛翔観】 W34a	【高赤方】 D09a	【突発天体】 A01a
09:42	R48a		M24a	P43a	W35a	}	A02b - A04b
09:54	R49a		M25a	P44a	W36a		D17a
10:06	R50a		M26b - M28b	P45a	W37a		A06a
10:18	R51a		M29a	P46a	W38a		A07a
10:30	R52a		M30a	P47a	W39a		A08a
10:42	R53a		M31a	P48a	W40a		A09b, A11b, A12b
10:54	R54b - R56b		M32a	P49a	W41a		A14a
11:06	R57b - R59b		M33a	P50a	W42b-W44b		A15a
11:18	R60b, R61b		M34a	P51a	W45b-W47b		A16b - A18b
11:30	ポスター						
12:30	昼休み						
13:30	【銀河】 R64a		【太陽】 M35a	【星・惑星】 P52a	【飛翔観】 W48a	【高赤方】 D18a	【突発天体】 A19a
13:42	R65a		M36a	P53a	W49a	}	A20a
13:54	R66a		M37a	P54a	W50a		D25a
14:06	R68a		M38a	P55a	W51a		A22a
14:18	R69a		M39a	P56a	W52a		A23a
14:30	R70a		M40a	P57a	W53a		A24a
14:42	R71a			P58a	W54a		A25a
14:54	R73a			P59a			A26a
15:06	R74b						
15:18							

<p><b>【突発天体・突発現象】</b> (11)</p> <p>A02b, A03b, A04b, A09b, A10c, A11b, A12b, A13c, A16b, A17b, A18b</p> <p><b>【宇宙流体力学】</b> (22)</p> <p>B14b, B15b, B16b, B17b, B18b, B19b, B20c, B21c, B22c, B23c, B24c, B25c, B26c, B27c, B28c, B29c, B30c, B31c, B32c, B33c, B34c, B35c</p> <p><b>【公開講座・一般公開】</b> (15)</p> <p>C07b, C08b, C09b, C11b, C12b, C13b, C14b, C15b, C16c, C17c, C18c, C19c, C20c, C21c, C22c</p> <p><b>【天体力学】</b> (5)</p> <p>K02b, K03b, K04b, K05c, K06b</p> <p><b>【太陽系】</b> (10)</p> <p>L01b, L02b, L10b, L11b, L12c, L15b, L16b, L17b, L18b, L19b</p> <p><b>【太陽】</b> (9)</p> <p>M07b, M08c, M09b, M10b, M11b, M19c, M26b, M27b, M28b</p> <p><b>【恒星】</b> (21)</p> <p>N04b, N05b, N06b, N10c, N15c, N18b, N19b, N20b, N29b, N30b, N31b, N41b, N42b, N43b, N46c, N47b, N48c, N49b, N50b, N51c, N52c</p> <p><b>【星・惑星形成】</b> (24)</p> <p>P01b, P02b, P03b, P04b, P05c, P06b, P07c, P08b, P09c, P10c, P11b, P12b, P13b, P14b, P15b, P16b, P17b, P18b, P19b, P20b, P21b, P22b, P23c, P24c</p> <p><b>【星間現象】</b> (16)</p> <p>Q06c, Q10b, Q11b, Q12b, Q13b, Q14b, Q15b, Q16b, Q24c, Q31b, Q32b, Q33b, Q34b, Q35b, Q36c, Q37b</p>	<p><b>【銀河】</b> (33)</p> <p>R01b, R21b, R22b, R23b, R24c, R25c, R26c, R31b, R32b, R33b, R34b, R35c, R36c, R37c, R38b, R39b, R40c, R41b, R42b, R43b, R54b, R55b, R56b, R57b, R58b, R59b, R60b, R61b, R62c, R63c, R67c, R72c, R74b</p> <p><b>【活動銀河核】</b> (9)</p> <p>S08b, S09c, S10b, S11b, S21b, S22b, S23b, S27b, S28b</p> <p><b>【銀河団】</b> (5)</p> <p>T12b, T13b, T14b, T15b, T16b</p> <p><b>【宇宙論】</b> (6)</p> <p>U10b, U11b, U12b, U13b, U14b, U15c</p> <p><b>【地上観測機器】</b> (39)</p> <p>V02c, V07c, V12b, V13b, V14b, V15b, V16c, V20b, V21b, V22b, V25b, V26b, V27b, V28b, V29b, V30b, V31b, V32b, V33b, V34c, V35b, V36b, V37b, V39b, V40b, V41b, V54b, V55b, V56c, V57b, V58c, V59c, V60c, V62b, V63b, V64b, V65b, V66b, V67b</p> <p><b>【飛翔体観測機器】</b> (28)</p> <p>W06b, W07b, W08b, W09b, W10b, W11b, W13b, W14c, W15b, W16b, W17b, W18b, W23b, W24b, W25b, W26b, W27c, W28b, W29b, W31b, W32b, W33b, W42b, W43b, W44b, W45b, W46b, W47b</p> <p><b>【天文教育・その他】</b> (7)</p> <p>Y03b, Y04b, Y05b, Y06b, Y07b, Y08b, Y09b</p>
--	---